

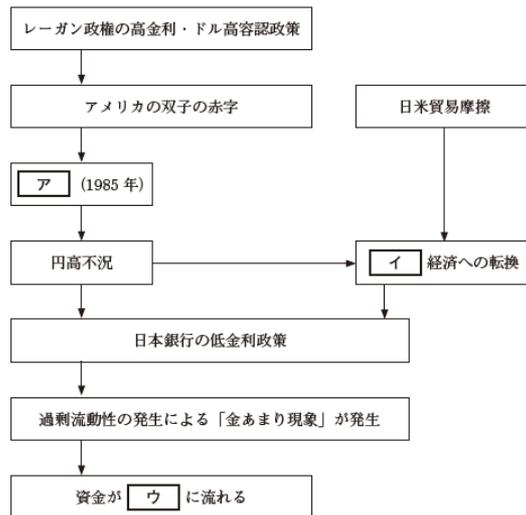
政治・経済

第1問 問6 「6」

経済のさまざまな知識を組み合わせて考察する問題で、各学力層で差がついた

問6 下線部①に関連して、次の図は生徒Xが日本のバブル経済が始まるまでの経過を模式化したものである。図中の空欄「ア」～「ウ」にあてはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 6

図



- ① ア ルーブル合意 イ 内需主導型 ウ 教育・研究開発
 ② ア ルーブル合意 イ 内需主導型 ウ 不動産や株式
 ③ ア ルーブル合意 イ 輸出依存型 ウ 教育・研究開発
 ④ ア ルーブル合意 イ 輸出依存型 ウ 不動産や株式
 ⑤ ア プラザ合意 イ 内需主導型 ウ 教育・研究開発
 ⑥ ア プラザ合意 イ 内需主導型 ウ 不動産や株式
 ⑦ ア プラザ合意 イ 輸出依存型 ウ 教育・研究開発
 ⑧ ア プラザ合意 イ 輸出依存型 ウ 不動産や株式

第1問 問6 「6」

正解率	49.8%
SS65~70	87.8%
SS60~65	79.7%
SS55~60	69.6%
SS50~55	57.4%
SS45~50	43.6%
SS~45	22.7%

2023年度第1回ベネッセ・駿台 大学入学共通テスト模試 「政治・経済」	
受験者数:	35,263人
平均点:	41.7点
標準偏差:	13.8

政治・経済

第1問 問6 「6」

経済のさまざまな知識を組み合わせて考察する問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第1問の問6は、日本のバブル経済が始まるまでの国内・国外の経緯を模式化した図から、空欄に当てはまる語句を考える問題で、SS45～55の学力層で、特に差がみられました。

アメリカの財政赤字と貿易赤字の拡大を是正するためのプラザ合意から日本では円高不況となり、対策として内需主導型産業に転換するとともに低金利政策が「金あまり現象」を発生させ、不動産や株式の高騰につながったという流れを押さえておく必要があります。経済の動きは、日本国内と国外の動向が密接に関連し合って展開しています。断片的な知識にとどまらず、同時代の経済の動向を整理して理解しておく必要があります、各学力層の差につながったのだと考えられます。

指導のご提案

各事象について断片的な知識で理解していても、そこにある背景や原因、役割など、複数の視点で事象をとらえきれていない時期だと思われます。これからの2か月半で実践的な問題演習を重ねるとともに、既習事項を改めて整理しなおし、流れに沿って事象相互のつながりを押さえることや、他と比較しながら考えるという学習をすすめることが大切です。

本問のように、共通テストでは、さまざまな事象を複数の視点で考える出題が予測されます。限られた時間のなかで情報を整理し、問題に解答する練習を重ねるようにしましょう。